機密性2

令和6年度　革新的GX技術創出事業（チーム型）  
　研究開発提案書（様式1）

|  |  |
| --- | --- |
| 応募する公募テーマ | ※応募する公募テーマを記載ください。 公募テーマ：「○○の開発」 |
| 研究開発課題名  ※20文字程度 |  |
| 研究開発期間 | R06年　　月～　　　年　　月（　　　年間） |
| 希望する研究開発費  （直接経費） | (1) 4年目までの研究開発費総額　　（　　　　　　百万円）  ※研究開始～2028.3まで |
|  |  |
| チームリーダー氏名  *※チームリーダーはe-Rad上の研究開発代表者になります* |  |
| 所属機関･部署･役職 |  |
| 本提案のエフォート | 今年度：　　　　％ |
| プログラムオフィサーとの利害関係  ※チェックしてください | プログラムオフィサーとの利害関係が　　　　　ある　　　　ない  *※詳細は募集要項「2.5.3利益相反マネジメントの実施」をご参照ください。*  *利害関係がある場合は（様式3）「4.その他」に具体的な内容を記載ください。* |
| チームリーダーの  利益相反  *※チェックしてください* | 「チームリーダーに関係する機関」の参画が　　 ある　　 ない  *※詳細は募集要項「2.5.3利益相反マネジメントの実施」をご参照ください。*  *参画がある場合は（様式3）「4.その他」に具体的な内容を記載ください。* |
| 研究者番号 | XXXXXXXX  *※府省共通研究開発管理システム(e-Rad)より付与された8桁の研究者番号を記載* |
| チームリーダー  の情報 | URL：  著者ID：  *※チームリーダー（研究開発代表者）情報を収載しているホームページ（研究室ホームページ、researchmapページ等）があればURLを、またORCID iDやPublonsのWeb of Science ResearcherID、Scopusの著者IDがわかれば、当該IDを記載ください。* |

|  |
| --- |
| 研究開発の概要 |
| *※全研究期間を含めた研究開発の概要を1000字以内で記載ください。*  *※本項目の記載内容を、e-Radの基本情報「研究概要」に転記ください。* |

研究開発課題の全体構想（様式2）

※募集要項第2章「2.6 選考の観点」及び募集要項別紙第6章に記載の研究開発内容もあわせて必ずご確認ください。

# GX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた研究開発の全体構想

※本研究開発によって、どのようにGHG削減やエネルギー安定供給、経済成長に貢献するのか、できる限り定量的に示してください。

※選択した公募テーマの目的を踏まえ、本研究開発が9年後に創出すると考えられる技術によって、社会に提供する新たな価値について記載ください。

※本項目の記載内容をe-Rad「基本情報」の「研究目的」に、必要に応じて要約した上で、1000字以内で記載ください。

**2．全体構想の実現に向けた課題**

※現状、社会や当該分野がかかえる背景・問題点を以下の点を踏まえ記載ください。

* 全体構想の実現に向けて解決すべき技術的課題
* 全体構想を実現するにあたって考えられるリスク（中長期的に考えられる技術的・社会的なリスクなど。）

**3．本研究開発の目標**

*※２で記載した課題の解決に向けて、研究開発期間全体を通して本研究開発で達成する目標を、設定の理由・根拠とともに記載ください。*

**4．** **本研究開発の優位性・革新性**

※以下について、判断できるように記載ください。

・従来技術の延長ではない挑戦的な技術内容であり、科学技術の飛躍的な発展があること（社会・産業上のニーズを踏まえたハイインパクトな目標設定となっている根拠を示してください）。

・国内外の研究開発動向を踏まえ、提案が優位性、独自性を有すること。

・・・ 様式2は、ここまでで図表含め4ページを超えないこと ・・・

研究開発目標と研究開発計画（様式3）

※研究開発期間は4年を軸として、最大9年間の設定としてください。

**1．研究開発目標達成に向けた実施内容**

**（1）研究開発実施内容の概要**

※研究開発開始後、原則2年度目・4年度目に実施される予定のステージゲート評価を見据えて、チーム全体としてどのようなスケジュールおよびマイルストーンを設定し研究開発を実施する予定か、わかるよう記載ください。

※以下について、判断できるように記載ください。

・公募テーマの目的を踏まえ、適切な短期・中期・長期の課題が設定されていること。（必ずしも短中長期課題全てが設定されている必要はありません。短中長期課題の考え方については募集要項「1.7 研究開発課題の構成について」をご確認ください。）

・社会・産業ニーズの把握および民間企業等の巻き込みなど、研究開発成果の展開（ビジネスモデル、企業への引き渡し等）を見据えた計画がなされていること。

※以下の項目については、提案時に予定しているものがあれば記載ください。

・ELSIへの配慮等、社会実装に向けた課題およびその解決方法

（記載例）

【短期的な課題①】

・○○の開発：○○の開発グループ

　～～の開発を行う。研究開始後○年後を目処に～～を検討完了し、△年後までに～～を確立する。

・□□の解析：□□グループ

　～～の解析を行う。研究開始後○年後を目処に～～を確立し、△年後までに～～を企業等へ引き渡す。

【中期的な課題①】

・○○の向上：○○グループ

　短期目標で確立した～～を基に○○の向上を行う。○年度を目処に～～の検討を完了し、△年後までに～～を達成する。

【中期的な課題②】

・○○の開発：○○グループ

　○○の開発を行う。○年度を目処に～～の検討を完了し、△年後までに～～を完成する。

【長期的な課題①】

・○○の実証：○○グループ

　○○の開発を行う。○年度を目処に～～を検討完了し、△年後までに～～を確立する。最終的には～～の開発を完了する。

**（2）研究開発スケジュール**

**：マイルストーン**

*※具体的なスケジュールとマイルストーンについて、線表でお示しください。*

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **初年度**  (R06.9～R07.3) | **2年度**  （R07.4～  R08.3) | **3年度**  (R08.4～  R09.3) | **4年度**  (R09.4～  R010.3) | **5年度以降**(R10.4～) |
| *（記入例）*  *1.チーム全体* | **○○の安定化** |  |  | **○○の解明** | **○○の確立** |
| *2.○○の開発グループ*  *【短期課題】*  *(1)△△原理の確認*  *(2)□□□*  *【中期課題】*  *(1)△△の解析・評価*  *（2)□□□* |  | **○○の原理解明** |  | **企業へスピンアウト**  **○○の解析・評価** | **○○グループに**  **成果展開** |
| *3. ○○の開発グループ*  *【中期課題】*  *(1)○○○*  *(2) □□□の試作*  *【長期課題】*  *(1) △△の試作* |  |  | **○○の試作** |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

**2．研究開発チーム体制**

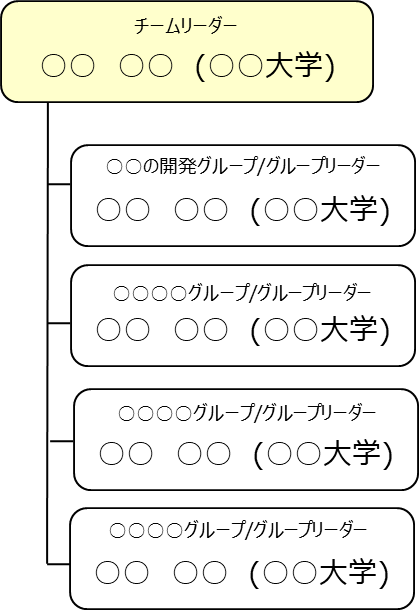
## （1）研究開発チーム全体構想

（a）研究開発チーム体制の概略図

※研究開発チーム体制を図示してください。

※チームリーダーは、チームの中に役割に応じたグループを設定し、それぞれのグループにグループリーダーを置いてください。

（チーム体制図を、目標達成に向けて適切な役割分担がなされていることが分かるように留意して、下図を参考に作成ください）



（b）研究開発チームの構成

*※（a）で図示した内容と整合するように、グループの構成、グループリーダー、グループの役割を記載ください。チームリーダーとグループリーダーは、JSTと委託研究契約を締結し研究開発費の配分を行う予定の研究機関に所属している必要があります。*

*※グループの果たす役割等について明確にわかるよう記載ください。*

*※グループの数に上限はありませんが、チームリーダーの研究開発構想の遂行に最適で必要十分なチームを編成してください。*

①研究開発チームの体制：チームリーダーについて

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| チームリーダー | 氏名（チームリーダー　） | 役職 | エフォート |
|  |  |  |
| 研究開発機関名 |  | | |

②研究開発チームの体制：グループリーダーについて

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| グループ名 | 氏名（グループリーダー） | 役職 | エフォート |
| *例）○○の開発グループ* |  |  |  |
| 研究開発機関名 |  | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| グループ名 | 氏名（グループリーダー） | 役職 | エフォート |
|  |  |  |  |
| 研究開発機関名 |  | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| グループ名 | 氏名（グループリーダー） | 役職 | エフォート |
|  |  |  |  |
| 研究開発機関名 |  | | |

※エフォートには、研究者の年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)のうち、当該研究開発の実施に必要となる時間の配分率(％)を記入ください。

*※グループリーダーの行は、必要に応じて追加・削除してください。*

## （2）研究開発チームの構成について

※研究開発チームが本研究開発の実施に当たり最適のチームとなっていると思われる理由について、記載ください。

## （3）各グループの体制と役割

※開発する要素技術ごとにグループを設置し、グループごとに役割とメンバーを記載ください。

※グループの数に上限はありませんが、チームリーダーの研究開発構想の遂行に最適で必要十分なチームを編成してください。

※グループ数に応じて、②以降を追加してください。

1. ○○の開発グループ　*※適切な名称に設定してください。*

(a) グループの概要

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発概要  （開発する要素技術と役割、おおまかなスケジュール等） |  |
| 他のグループとの連携について |  |

（b）構成メンバー

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **研究者氏名** | **研究開発機関・部署名**) | **役職** | **グループ内での**  **役割** |
| ○○　○○ | ○○大学　大学院○○研究科 | 教授 | グループリーダー |
| ○○　○○ | ○○大学　大学院○○研究科 | 准教授 |  |
| ○○　○○ | ○○大学　大学院○○研究科 | 博士課程○年 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※現在の所属機関と採択後研究開発を実施する機関が異なる場合には、研究開発を実施する機関を記載いただき、特記事項にて事情をお知らせください。

##### ＜特記事項＞

※特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由を記入ください。

※海外の研究開発機関を研究開発チームに加える場合は、募集要項第2章「2.3.2研究開発体制の要件」を参照の上、海外の研究機関に所属する共同研究者が必要であることの理由を本項に記載ください。

## （4）委託研究契約の情報

※こちらには委託研究の契約代表者および所属機関情報を記載ください。チームリーダー、グループリーダーの他に、委託研究契約を締結する研究機関の契約代表者を全て記載する必要があります。e-Radでの入力内容となります。

※委託研究契約は、研究機関毎に締結しますが、同一の研究機関において複数の契約を締結することが可能です（複数の契約代表者を設定することが可能です）。

※府省共通研究開発管理システム(e-Rad)へ研究者情報を登録した際に付与される8桁の研究者番号を記載ください。

※研究機関名の欄には府省共通研究開発管理システム(e-Rad)所属研究機関コードも記載ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **委託研究の契約代表の研究者氏名** | **研究機関・部署名**) | **役職** | **所属グループ名** |
| ○○　○○  研究者番号：12345678 | ○○大学　大学院○○研究科  研究機関コード：1234567890 | 教授 | チームリーダー |
| ○○　○○  研究者番号：12345678 | ○○大学　大学院○○研究科  研究機関コード：1234567890 | 教授 | ○○の開発グループ |
| ○○　○○  研究者番号：12345678 | ○○大学　大学院○○研究科  研究機関コード：1234567890 | 准教授 | ○○グループ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

## （5）学生および若手研究者の参画について

*※研究体制への学生および若手研究者の参画人数について記載ください。*

*※学生は学部学生・大学院生（修士・博士課程）を対象とし、若手研究者は博士の学位を取得後8年未満又は39歳以下の博士の学位を未取得の研究者を指すこととします。*

*※また、学生および若手研究者の参画に関する方針や育成に関するお考えがあれば記載ください。*

*※若手の積極的な参画・育成については、募集要項「1.3 事業の特徴と推進にあたっての留意事項」を参照ください。*

# 3．チームリーダー（研究開発代表者）が行うマネジメント方針

## （1）研究開発マネジメントの方針​

※改善や軌道修正、新たな知見・技術の導入、成果の展開に当たっての方針

## （2）知的財産管理方法等に係る方針

※知的財産管理方法には、例えば次のようなものを含みます：

・知的財産のマネジメントにあたり、どのようなメンバーでマネジメント体制を構築するのかについて、チームリーダーの基本的な考え方。

・本課題で創出される研究開発成果について、知的財産として「権利化する対象としない対象」を区分する基本的な考え方。また、対象の発表・非公開についての基本的な考え方。

・本課題実施期間中および終了後の知的財産の権利化・維持（財源をどうするかを含む）、放棄、移転等についての基本的な考え方。

※本研究開発に参画する研究者は、提案する領域における知的財産の取扱方針を遵守する必要があります。

## （3）研究データマネジメントに係る方針

*※研究データマネジメント等に係る方針には、例えば次のようなものを含みます：*

*・本課題で創出される研究データの取得・管理に関する基本的な考え方。具体的には、「研究データを管理対象とするか・対象外とするか」の基準設定に関する考え方。*

*・本課題実施期間中および終了後の管理対象となる研究データの保存・利活用に関する基本的な考え方。具体的には、管理対象となる研究データの保存場所、保存期間に関する考え方や、公開する際の公開場所、公開期間、利用する際の制限事項の設定に関する考え方。*

## （4）国際連携に係る方針

*※本事業では、海外のトップレベルの研究機関との戦略的・積極的な連携を促進します（「1.3 事業の特徴と推進にあたっての留意事項」をご確認ください）。チームとしての国際連携の方針や計画、予定している取り組みがあれば記載ください。*

# 4．その他

※現時点での、主要な研究開発機関における支援方策や体制についての準備・検討状況について記載ください。

※プログラムオフィサーとの利害関係がある場合は、その内容を具体的に記載ください。また、本提案におけるチームリーダーの利益相反がある場合は、その内容を具体的に記載ください。利害関係及び利益相反の定義は、募集要項第2章「2.5.3利益相反マネジメントの実施」をご確認ください。

研究開発予算計画（様式4）

・本様式では、4年度目までの研究開発予算計画を記載ください。

・研究開発期間、予算総額は必ず募集要項別紙第6章をご確認ください。

・費目別の研究開発予算計画とグループ別の研究開発予算計画を年度ごとに記入ください。

・面接選考の対象となった際には、さらに詳細な研究開発予算計画を提出していただく場合があります。

・研究開発費は、本事業全体の予算状況、プログラムオフィサーによる領域としてのマネジメント、課題評価の状況等に応じ、採択時や研究開発期間の途中に見直されることがあります。

#### ◯ 研究開発推進に係る費目別の研究開発費計画

※研究開発費の費目と、その使途は以下のとおりです。

・設備備品費：個別研究機器について記入ください。個別研究機器の詳細については募集要項第1章「1.4 研究開発体制について」を参照ください。

・消耗品費：消耗品を購入するための経費

・旅費：チームリーダーや研究参加者の旅費

・人件費・謝金：研究員・技術員・研究補助員、RA※等の人件費、謝金（※RA(リサーチアシスタント)については募集要項第4章「4.13 博士課程学生の処遇の改善について」をご参照ください。）

（単位：百万円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **初年度**  (R06.9～  R07.3) | **2年度**  (R07.4～  R08.3) | **3年度**  (R08.4～  R09.3) | **4年度**  (R09.4～  R10.3) | **合計** |
| **設備備品費** |  |  |  |  |  |
| **消耗品費** |  |  |  |  |  |
| **旅費** |  |  |  |  |  |
| **人件費・謝金**  **(人件費を支出する研究員の数)** | ( ) | ( ) | ( ) | ( ) |  |
| **その他** |  |  |  |  |  |
| **直接経費 計** |  |  |  |  |  |
| **間接経費** |  |  |  |  |  |
| **合計** |  |  |  |  |  |

#### ◯ 特記事項

・人件費が研究開発費総額の50%を超える場合、消耗品費、旅費それぞれが研究開発費総額の30%を超える場合は、その理由を本項に記載ください。

#### ◯グループ別の研究開発費計画

※各グループの研究開発費および、担当する短中長期課題にかかる概算予算についても可能な範囲で記載ください。

※5年度目以降の予算については、現状必要と想定される必要最低限の研究開発費について記載ください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **初年度**  (R06.9～  R07.3) | **2年度**  (R07.4～  R08.3) | **3年度**  (R08.4～  R09.3) | **4年度**  (R09.4～  R10.3) | **4年度目までの**  **合計** | **5年度目以降**  (R10.4～) | **全期間**  **合計** |
| **○○の開発グループ** |  |  |  |  |  |  |  |
| *【短期課題】*  *(1)△△原理の確認*  *(2)□□□* |  |  |  |  |  |  |  |
| *【中期課題】*   1. *△△の解析・評価*   *（2)□□□* |  |  |  |  |  |  |  |
| *【長期課題】*  *（1）△△の開発* |  |  |  |  |  |  |  |
| **△△グループ** |  |  |  |  |  |  |  |
| *【短期課題】* |  |  |  |  |  |  |  |
| *【中期課題】* |  |  |  |  |  |  |  |
| **□□グループ** |  |  |  |  |  |  |  |
| *【中期課題】* |  |  |  |  |  |  |  |
| *【長期課題】* |  |  |  |  |  |  |  |
| **直接経費 計** |  |  |  |  |  |  |  |
| **間接経費** |  |  |  |  |  |  |  |
| **合計** |  |  |  |  |  |  |  |

（単位：百万円）

#### ◯ 活用予定の既存の主要設備

※所属機関の研究施設における設備・装置等で、領域・研究開発チーム間で活用、共用する予定のものがある場合、記載ください。

　（記入例）○○○○○○（機器名）　　　　　 　○○大学（設置場所）

　　　　　　○○○○○○ ○○大学

　　　　　　○○○○○○ ○○研究機構

#### ◯ 購入予定の個別研究機器（1件5,000千円以上）

※蓄電池、水素領域における共通研究機器を、P10｢表．蓄電池領域および水素領域において整備されている共通研究機器一覧｣に示しています。導入する個別研究機器については、リストに掲載されている設備等の使用を前提に、装置類の購入計画を立ててください。

※共用を予定している機器については、○を「共用」欄へ記載ください。

この項目における共用は、募集要項「4.12 研究設備・機器の共用促進について」に記載の「研究設備・機器の共用促進に向けたガイドライン」に沿ったものになります。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備・装置名 | 概算価格（千円） | 設置する 研究機関名 | 導入年度 | 用途 | 共用 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

研究開発提案者（様式5）

#### ○ チームリーダーの基本情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **（フリガナ）**  **氏名** |  | | |
| **国籍／性別** |  | **生年月日（西暦）** |  |
| **所属機関・役職** |  | |  |
| **学歴**  **（大学卒業以降）** | 学歴：  （記入例）  ◯◯◯◯年 ◯◯大学◯◯学部卒業  ◯◯◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科修士課程○○専攻修了  ◯◯◯◯年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了  ◯◯◯◯年 博士（◯◯学）（◯◯大学） 取得 | | |
| **研究開発歴**  **（主な職歴と 研究内容）** | 職歴：  （記入例）  ◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯開発部（◯◯◯◯について開発）  ◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯大学特任准教授（◯◯◯◯に関する研究に従事）  ◯◯◯◯年～◯◯年 ◯◯株式会社◯◯事業部（◯◯◯◯事業担当） | | |
| **その他特記すべき活動歴** | （社会貢献活動、国際活動等本事業に関わる特記事項があれば任意記入） | | |

#### ○ 提案者業績リスト

・本研究開発課題の提案に関連するこれまでの主要な論文・著書等の業績20件以内（チームリーダー分、グループリーダー分を合計して20件以内）を、現在から順に発表年次を過去に遡って記載ください。

・論文についての記載項目は以下の記入例のとおりとしてください。（著書の場合はこれに準じてください。）

・項目順は自由です。

・プレプリントは発表年の後に（プレプリント）と記入ください。

#### ＜チームリーダー＞

（記入例）

・著者（著者は全て記入ください。）、論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年

#### ＜グループリーダーa＞

（記入例）

・著者（著者は全て記入ください。）、論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年

#### ＜グループリーダーb＞

（記入例）

・著者（著者は全て記入ください。）、論文名、掲載誌、巻号、ページ、発表年

他制度での助成等の有無（様式6）

※チームリーダー、グループリーダーおよびそれ以外の主たる共同研究者（様式3の2.(4) 委託研究契約の情報において挙げた研究者）が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の共同研究開発費・研究助成等(民間財団・海外機関を含む)（＊）について、研究課題ごとに、資金制度名もしくは研究開発費名、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究開発費の額、エフォート・所属機関および役職を記入ください。募集要項第4章「4.2 不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。

（＊）応募に当たっては、「統合イノベーション戦略2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、「他制度での助成等の有無」の様式に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究開発費や共同研究開発費等の研究資金について全て記載ください。

※記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

※現在申請中・申請予定の研究助成等について、この研究開発提案の選考中にその採否等が判明する等、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、この募集要項巻末に記載された問合わせ先まで電子メールでご連絡ください。

※面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

（記入例）

#### チームリーダー：○○　○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **資金制度名**  **もしくは**  **研究開発費名（配分機関名）** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究開発費**  **(期間全体)**  **(2)〃(R07年度予定)**  **(3)〃(R06年度予定)**  **(4)〃(R05年度実績)** | **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** | **所属**  **機関・**  **役職** |
| 革新的GX技術創出事業（本提案） | 申請 |  |  | 代表 |  |  |  |
| 科学研究開発費 補助金  基盤研究(S) | 受給 | ××による◇◇の創成  (○○○○) | 2020.4  －  2025.3 | 代表 | (1) 100,000千円  (2) 50,000千円  (3) 25,000千円  (4) 5,000千円 | 20 |  |
| 共同研究開発費  （○○株式会社） | 受給 | ××による◇◇の解析  (○○○○) | 2022.10  －  2024.9 | 代表 | (1) 20,000千円  (2) 7,000千円  (3) 8,000千円  (4) 5,000千円 | 10 |  |
| JST戦略的創造 研究推進事業 CREST | 申請 | ××による◇◇の高機能化  (○○○○) | 2024.10  －  2027.3 | 分担 | (1) 140,000千円  (2) 35,000千円  (3) 8,000千円  (4) - |  |  |

・現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究開発費(期間全体)が多い順に記載ください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載ください。

・助成等が、現在受給中または受給が決定している場合は「受給」、申請中または申請予定であれば「申請」、と記入ください。

・「資金制度名」もしくは「研究開発費名」は、国内の競争的研究開発費以外の場合、資金を配分している機関名も記載ください。

・「役割」は、代表又は分担等を記載ください。

・「本人受給研究開発費」は、ご本人が受給している金額(直接経費)を記載ください。

・「エフォート」は、年間の全仕事時間(研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む)のうち、当該研究の実施に必要となる時間の配分率(％)を記載ください【総合科学技術・イノベーション会議における定義による】。申請中・申請予定の助成等のエフォートは記載せず、革新的GX技術創出事業（チーム型）のみに採択されると想定した場合の、受給中・受給予定の助成等のエフォートを記載ください。革新的GX技術創出事業（チーム型）のエフォートと、現在受けている助成等のエフォートを合計して100％を超えないようにしてください。

・当該研究課題を申請もしくは受給するにあたっての所属機関および役職を記載ください。

・必要に応じて行を増減してください。

（記入例）

#### グループリーダーa：△△　△△

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究開発費**  **(期間全体)**  **(2)〃(R06年度予定)**  **(3)〃(R05年度予定)**  **(4)〃(R04年度実績)** | **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** | **所属**  **機関・役職** |
| 革新的GX技術創出事業（本提案） | 申請 |  |  | 分担 |  |  |  |
| 厚生労働科学 研究開発費 | 受給 | ××開発に 関する実践研究  (○○○○) | 2020.4  －  2025.3 | 代表 | (1) 50,000千円  (2) 0千円  (3) 20,000千円  (4) 5,000千円 | 10 |  |
|  |  |  |  |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) －  (4) － |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

（記入例）

#### 主たる共同研究者a：□□　□□

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究開発費**  **(期間全体)**  **(2)〃(R06年度予定)**  **(3)〃(R05年度予定)**  **(4)〃(R04年度実績)** | **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** | **所属**  **機関・**  **役職** |
| 革新的GX技術創出事業（本提案） | 申請 |  |  | 分担 |  |  |  |
| ○○財団 ××研究助成 | 受給 | ××分野への  挑戦的研究  (○○○○) | 2022.4  －  2025.3 | 代表 | (1) 2,000千円  (2) 0千円  (3) 1,000千円  (4) 1,000千円 | 15 |  |
|  |  |  |  |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) －  (4) － |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |